

嘔吐物処理の手順



*給食従事者は,嘔吐物処理に携わらない。

①教室から全員退避させる

他の児童生徒への二次感染防止

②助けを呼ぶ・窓を開ける

本人の介護,他の児童生徒の指導,処理 をする人など役割分担する。

③嘔吐物の処理

1 身支度をして感染防止

帽子, エプロン, マスク, 手袋<u>(二重)</u>, <u>靴カバー</u>を 着用する。

注意!

嘔吐物は、周辺部(半径2m) にも飛散しています。

圆消毒薬を浸し, 拭き取る。

2 ペーパータオル・消毒薬

嘔吐物をペーパータオルで 覆う。

(A) 消毒薬をかける。(10分置く)

3 ビニール袋・布巾

拭き取ったペーパータオルを ビニール袋に入れ, 口をしっ かり縛る。

その後、 (4) 消毒薬をまき、 布巾で再度拭きとる。

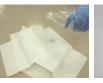
4 布巾・手袋の片付け

嘔吐物入りのビニール袋を別のビニール袋に入れ,同じ袋に手袋なども一緒に入れて口をしっかり縛る。

4手洗い・うがい

しっかりと手洗い・うがいを行う。













感染防止ポイント①



二次感染が心配されますので,他の 児童生徒を教室の外に誘導します。

感染防止ポイント②

窓を開け、換気を 行います。



感染防止ポイント③



児童生徒に手洗い, うがいをさせ, さらに二次感染防止をします。

感染防止ポイント④



その日の給食は、教室を使用せず、特別教室等で喫食するようにします。

注意!

消毒薬 (A) を浸み込ませた後, (外側から) 内側に向けて, 静かに拭き取ります。

※嘔吐物処理セット

使い捨てのエプロン・帽子・マスク・手袋・<u>靴カバー</u>,新聞紙,布巾,ビニール袋,バケツ,ペーパータオル等

(消毒薬は教室には置かない)

消毒薬の作り方

500mL の水に、 ペットボトルのキャップを 使用して、次の消毒薬を作ります。 (塩素系漂白剤 (5%) 使用の場合)

嘔吐物処理用・・・・ 🛆 消毒薬

500mL にキャップ 2 杯

500mL にキャップ 1/2 杯

